



# 「こんにちは 市長です」

12月15日号

今年の流行語大賞に「3密」が選ばれた。しかし、「3密」を守ることはしていてもコロナを退治することはできない。歯がゆい。国民誰も成すすべを失っている。昨日（12/2）は2434人新たに感染、死者は33人。群馬県では過去最高44人が感染した。

知事からウェブ会議をしたいと連絡があった。群馬県は今週に入って30人台が続いていた。そして、いつ爆発するのか心配であった。太田は11人の感染者が出た。「どうしたものか」市の単位で抑止力につながる策がない。「マスク・手洗い・換気」ひたすら市民にお願いすることしかないのだ。HPのトップを「コロナ感染注意」にした。ふれあい相談員が訪問しているひとり暮らしの高齢者には注意喚起を促すペーパーを添えてマスクを10枚ずつ配布することにした。マスク不足のころからを含めて65万枚の配布になる。参加した他市からの情報を聞いたが「これだ！」という答えは出てこなかった。知事は「施策の変化があったら市と協議をする」と話していた。

菅首相は事あるごとに「マスク着用をお願いします」と国民にメッセージを送る。医療の専門家もテレビでマスク、3密にならないよう訴える。今、マスクは常識化した。運動公園でウォーキングする人でさえも皆マスクをする。半年も前、ケヤキの葉が真綿に包まれているころはマスクをせずに新緑のすがすがしさを胸いっぱい吸い込んでいた。その人たちも紅葉の季節を迎えるころにはマスクをするようになった。アルコールの消毒液は店先に並ぶ。ちいさな集会でも検温は当たり前である。なのに、大都市圏に追従して地方のコロナ感染は拡大する。怖い。

可能な限り、人の動きを止める方にかじを切った方がいいのでは。「お金をあげるから旅行に行きなさい」GoToはそろそろ幕引きの時だと思いますが…。

今年はコロナで暮れました。来年こそ皆さんにとって希望の年になるよう願います。（12/3記）